

グリーンウェイブ 2010 の実施等について

1. 概要

国連生物多様性条約事務局（以下「条約事務局」）では、2008 年から、「国際生物多様性の日」である5月22日の午前10時に、世界各地で青少年の手により、それぞれの学校の敷地などに植樹等を行うことを呼びかけている。

植樹された樹木が、地球上を東から西へ波のように広がっていく様子を、「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現している。植樹する樹木の樹種や場所・方法などを自ら考えていく過程で、世界の青少年に生物多様性やその保全の必要性等について学ぶ機会を提供することが、この活動の趣旨である。

昨年、生物多様性地球戦略企画室では「グリーンウェイブ 2009」として、実施要綱を定め国民に広く参加の呼びかけを行い、全国で80団体、約3,000人の手により、約3,500本の植樹が行われた（平成21年6月29日 環境省報道発表資料「グリーンウェイブ 2009」の実施結果等について（※）参照）。

本年も「グリーンウェイブ 2010」として、活動の実施を広く呼びかける。

※ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11292>

2. 「グリーンウェイブ 2010」について

「グリーンウェイブ 2010」は、幅広い分野の多様な主体から広く協力・参加を得るために、国際生物多様性年国内委員会のプロジェクトの一つに位置付けて、3月1日から5月31日までの期間、実施する。

昨年同様、環境省が実施要綱を定め、関係機関（協力者）に、呼びかけを行い、結果を取りまとめて条約事務局に報告する。

IYBである今年は、昨年を上回る学校・企業等の参加が望まれるため、説明会等の開催や、メディアを通じた参加呼びかけなど、積極的な広報を展開する。

なお、2月4日には「グリーンウェイブ 2010」の実施についてプレスリリースを行った他、2月12日には、活動参加者や協力要請先を対象とした説明会を開催した。

～生物多様性条約事務局「グリーンウェイブ」ウェブサイト～

<http://greenwave.cbd.int/en/about-greenwave>



「グリーンウェイブ」活動を登録すると、活動場所がグーグルマップ上にポイントとして示される。（ポイントの色は、「黄緑色は学校」「紫色は政府機関」など、活動主体の属性を示す。）これらが、5月22日の20時10分に木の形に変わり、当該地に新たに樹木が植えられたことを示す。